



■昨年11月の例会では湯来町多田で木馬道を作成しましたが、2月の例会はその木馬道を使つての集材作業。当初は16日が例会日の予定でしたが、雨のため23日に延期となり、何名参加か心配でしたが22名の参加者を得て先ずは一安心。

■天気は快晴。数日前の雪もすっかり溶け、作業するには絶好の活動日和となりました。活動場所が湯来町で、2月という事もあり集合時刻をいつもより30分遅くしていましたが9時過ぎには全員揃い、活動場所に向かいました。

■作業内容は、
①木馬による間伐材の運搬。

②ウインチの操作。③木馬道の補修。それぞれのグループに分かれ作業を開始しました。木馬は2台あり、2台

全て会員の山田さんが部品から手作りされ、その完成度の高さに皆驚いていました。木馬の組み立てに思ったより時間を要し、作業が開始できたのは10時30分頃からです。

■一台の木馬に間伐材を2～3本乗せて、前に2名後ろに2名がロープを持ち、うまくバランスを取りながら木馬道を滑らせて行きました。最初は人力で引っ張っていましたが、作業を始めて30分程でウインチの準備が出来、後は動力で引き人間は木馬道から外れないよう、左右のバランスをとるのが主な作業になりました。

■集材を乗せた木馬はかなりの重量があり、一度木馬を通ると痛みが激しく補修作業はなかなか大変でした。それでも約25本の間伐材を運び当初の目的を果たしました。

■午後2時40分作業終了ミーティングを実施。主な意見は、『木馬道の枕木が随分傷んでいる、早く補修した方が良い。』『枕木の間隔が広すぎる、カーブの所等、もつと密にした方が良い。』『木馬が倒れたが、原因は重心の高さ。材は積み上げず平らに乗せるべきである』『ウインチのスピードが早い、の感想に対し、操作が難しいとの返答』『木馬道の整備について、よく崩れて補修が大変だった。杭は太くて長い方がよい。』等でした。体験に基づいた貴重な意見の数々、是非次回に活かして行きたいと思っております。大きな事故もなく、15時20分無事に例会を終了しました。



山田さん制作木馬